

従業員との関わり(労働環境)

あたり前の事を 確実にやり遂げる!!

●安全衛生は、初めから終わりまで全てに優先

安全衛生方針

1. 労働安全衛生法および、関係する諸法令と社内規則・基準を遵守し、災害の発生防止に努める
2. 全災害未然防止を基本に、本質安全と従業員の意識向上を図り体質を強化する
3. 衛生管理の充実と、全従業員の健康維持増進を図る

当社の『安全衛生方針』は、経営トップの思いを定めた安全・衛生の姿です。この方針をもとに、労働災害ゼロの達成を目標としています。

次代の大豊 <テーマ 安全衛生>

「安全衛生の向上に向けて」

安全、衛生活動は従業員を守る活動であると考えています。安全、衛生が配慮される風土・体制作りを進めており、継続的な教育の重要性を感じています。職場における潜在的なリスクを把握・管理し、計画的な対策を実施していきます。



安全衛生推進部
部長
山中 敏雄

●労働災害ゼロに向けて

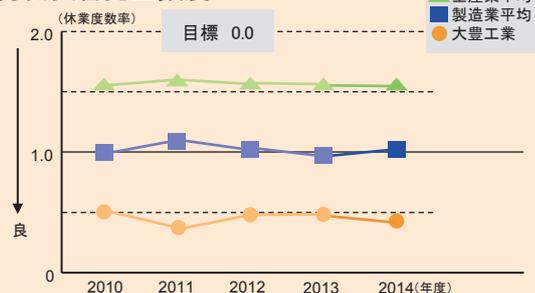
安全活動では、重大災害の未然防止を最重要とし、労働災害ゼロに向けて取り組んでいます。

◆安全活動の主な取り組み

1. 重大災害未然防止
 - ・人と車両の分離(歩行帯の整備)
 - ・構内工事の災害リスク低減
2. 止めるにこだわった活動
3. 作業環境の改善(騒音・暑熱)
4. 海外グループ会社の活動支援

活動の指標(KPI)

●労働災害発生頻度



休業度数率は休業災害の発生頻度を表したもので、右式で算出しています。

$$\text{休業度数率} = \frac{\text{休業災害件数}}{\text{延べ労働時間}} \times 100\text{万}$$

◆休業災害ゼロを継続

<本社工場>

2010年から3年5カ月にわたり休業災害ゼロを継続し、無災害記録第1種(390万時間)を達成しました。



■毎日のベルパトロール活動

活動の中でコミュニケーションを図ることにより、リスクを共通認識し、全員参加で提案・改善ができる、明るい職場を目指します。

※ベルパトロール活動とは

毎日、輪番で各職場の作業観察を行い、作業手順やリスクアセスメント、改善の確認等を行います。



本社工場製造部
和田 楓希

●働く人の体を気遣う

衛生活動では、喫煙率の低減を重要課題として取り組んでいます。また、グループ各社のメンタルヘルス支援を開始しました。

◆主な取り組み

心の健康

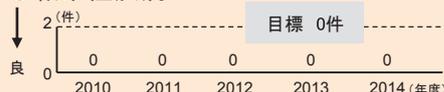
- ・新入社員衛生教育
- ・昇格前研修
- ・昇格後リスナー研修
- ・メンタルヘルス講演会

健康維持・推進活動

- ・ヘルスマネージャ
- ・健康セミナー
- ・禁煙セミナー
- ・特定保健集団指導 など

活動の指標(KPI)

●職業性疾病



●大豊工業と全国喫煙率の比較



大豊工業:
健保健康評価
全国平均:
JT全国喫煙者率調査

◆働く人の健康管理をサポート

1回/年の健康診断の血液検査等の結果に基づいた健康管理のサポートを継続しています。



■身近なことから健康意識の向上

保健指導にて血圧が少し高めである点を注意されて、日々の血圧を測定するようにしました。塩分を抑えるなどの食生活の改善から、日々のストレスを解消するための運動をすることで、自分なりにリフレッシュする時間を積極的に持つようになりました。



本社工場
清 弘文